

JFA フェアプレーコンテスト ガイドライン

I フェアプレーの考え方

ゲームをフェアにプレーし、相手にスポーツマン精神で接するという考え方は、スポーツにおける最もすばらしい要素の一つです。子どものときにこそ、真のフェアプレー精神を身につけさせたいと考えます。

フェアプレーのコンセプトは、以下の原則に分けることができます。これは、プレーヤーばかりでなくゲームに関わるあらゆる人、すなわち、ベンチ、観客にも適用されるものです。関わる全ての人で良いゲームを作り出すと考えてください。

- a) 競技規則と大会規則を尊重する。
- b) 対戦相手、レフェリー、その他、観客、相手クラブのオフィシャルや協会、メディア等、試合に関わるあらゆる人に対し、スポーツマン精神にのっとった行動をとるよう、できるかぎりの努力をする。
- c) 試合に関わる誰もが、試合前、中、後に、試合の結果やいかなる判定があっても、以上に示したように振舞う。

(参考：UEFAによるEURO2008大会規定)

II フェアプレーアセスメント

1) イントロダクション

1. フェアプレー精神にのっとり行動することは、スポーツの普及、発展、参加に非常に重要なことです。フェアプレーに賛同する活動は、スポーツマン精神、そしてプレーヤー、チーム関係者、観客のスポーツマン的行動を促進し、それによって、ゲームに関わるあらゆる者の喜びを増すことにつながります。
2. フェアプレー促進のキャンペーンの一環として、JFAは当該大会の際にフェアプレーコンテストを実施します。このコンテストは、本大会における担当者が判定します。担当者は必要に応じて、レフェリーや、レフェリーオブザーバーの意見を聞いた上で、フェアプレーアセスメントフォームに記入します。

2) 結果の収集

3. 決勝大会の全試合を考慮します。
4. 各大会の組織委員会は、大会終了時に結果を発表します。これが最終決定となります。
5. フェアプレーコンテスト勝者には、大会主催者が定めたものが授与されます。(※2)

3) 評価

6. アセスメントフォームは、6項目から成ります。これらの項目によって、チームのフェアプレーパフォーマンスが判定されます。これらの項目は、ネガティブな面よりもポジティブな面を強調したものとなっています。一般的なルールとして、満点は、チームがポジティブな態度を示したときにのみ与えられます。

7. グリーンカードが採用される大会では、グリーンカードは1ポイントのプラスとなります。

レッドカード、イエローカードは、最大10ポイントから減点されます。

- | | |
|---------------------|-----------|
| ・グリーンカード | プラス1ポイント |
| ・初回のイエローカード： | マイナス1ポイント |
| ・2枚目のイエロー／間接のレッドカード | マイナス3ポイント |
| ・直接レッドカード | マイナス3ポイント |
| ・イエローカード&直接レッドカード | マイナス4ポイント |

8. ポジティブプレー

最低1ポイント

最高10ポイント

この基準の目的は、攻撃的で魅力的なプレーを評価しようというものであり、以下の面を考慮します。

a) ポジティブ面

- ・「スピーディーでフェアでタフなゲーム」を目指し、プレーに集中し、常にプレーを続ける意志を持ち、たくましくプレーする。
- ・守備的な戦術ではなく攻撃的戦術
- ・ゲームのスピードアップ
- ・既に望む結果（例：予選突破）が得られていても、コンスタントに得点を狙う

b) ネガティブ面

- ・ラフプレーに頼る戦術
- ・見せ掛けの演技
- ・遅延行為 等

基本的に問題はないが、とりたてて特に相手に対するポジティブな態度や行為が見られなかった場合は、10ではなく7ポイントをつける。

9. 相手に対する敬意

最低1ポイント

最高5ポイント

プレーヤーは、競技規則、大会規則および対戦相手等に敬意を払うことが期待されます。

プレーヤーの相手に対する行為を評価する際には、レッドカードとイエローカードの評価をここに二重に入れることは避けます。ただし、カードで評価された良い行為、罰せられた違反、ならびにレフェリーが見落とした違反の深刻さについては考慮に入れてもかまいません。

評価は、違反行為よりも、ポジティブな態度（例、怪我をした相手を助ける等）に基づいて行います。

基本的に問題はないけれど、とりたてて特に相手に対するポジティブな態度や行為が見られなかった場合は、5ではなく4ポイントをつけます。

10. レフェリー／マッチオフィシャルに対する敬意

最低1ポイント

最高5ポイント

プレーヤーは、マッチオフィシャルとその判定に敬意を表することが期待されます。

レフェリーに対するポジティブな態度、異議なく判定を受け入れること等を評価します。

- ・プレーに集中して常にプレーを続ける意志を持ち、ホイッスルが鳴るまで自分からプレーをやめない。
- ・判定に従い、すぐに次のプレーに移る。

基本的に問題はないけれど、とりたてて特にマッチオフィシャルに対するポジティブな態度や行為が見られな

った場合には、5ではなく4ポイントをつけます。

11. チームオフィシャルの態度

最低1ポイント

最高5ポイント

コーチその他のチームオフィシャルは、チームのスポーツ精神、技術、戦術、倫理のスタンダードを促進し、プレーヤーに対しフェアプレーの原則に従って行動するよう指導することが期待されます。

チームオフィシャルの、ポジティブな要素、ネガティブな要素両方が評価されます。

- ・興奮したプレーヤーを落ち着かせている、あるいはレフェリーの判定を受け入れる。
- ・グッドスタンダードを示し、選手の良い見本を自ら示す。
- ・選手をあおったり挑発したりする行為はネガティブに評価される。選手がプレーに集中し、タフに闘うことを求め励ます。
- ・参加する全ての選手にプレー経験、さまざまなポジションを経験する機会を与える。

ピリオド制、交代に関する考え方の趣旨を理解し、趣旨に沿った行動をする。(この面に関しては、1試合のみでなく、大会全体を通して考慮される)

基本的に問題はないけれど、とりたてて特にマッチオフィシャルに対するポジティブな態度や行為が見られなかった場合には、5ではなく4ポイントをつけます。

12. 応援者の行動

最低1ポイント

最高5ポイント

観客は、サッカーの試合の不可欠な一部とみなされます。保護者をはじめとする大人の励まし、応援は、子ども達を勇気づけ、試合のポジティブな雰囲気貢献することができます。

ただし、観客は、対戦相手とレフェリーに対し敬意を表することが期待されます。結果に関わらず対戦相手のパフォーマンスを正当に評価すべきであり、対戦相手、レフェリー、相手のサポーターを威嚇したり脅したりする行為は決してしてはなりません。

- ・子ども達にネガティブな声をかけず、またサイドコーチングもしない。子ども達が迷わず自分達の判断、自分達の意志でプレーすることを尊重し見守り応援する。
- ・自分の子どもばかりでなく、自分のチームばかりでなく、相手チームの良いプレーにも拍手を送る。
- ・子ども達の自立を助け、準備、片付け等子ども達ができること、やるべきことは子ども達にやらせる。
- ・コーチや審判を尊重し、彼らの判断に任せる。
- ・子ども達の良い見本となる行動、姿勢を示す。

最高ポイント(5)は、これら全ての要件が満たされ、特にポジティブな雰囲気を生み出していた場合にのみ与えられます。

この基準は、試合を行うチームに関わる応援者が相当数いる場合にのみ適用されます。もしも応援者の数がわずかな場合は、「適用せず」と記入します。

※注：以下の最終の換算は、この項目の適用あり／なしに関わらず評価をするためのものです。

4) 最終評価

13. チームの最終評価は、以下のとおりです。

- a) ポイントを合計する。例：チームA $8 + 7 + 3 + 4 + 5 + 4 = 31$
- b) 合計点を満点(40)で割る。 $31 \div 40 = 0.775$
- c) この数字を1000倍する。 $0.775 \times 1000 = 775$

ただし、チームをサポートするファンの数がわずかな場合、「観客の行動」の基準は適用されず、満点は35となります。

したがって、最終評価は以下のように算出されます。

a) ポイントを合計する。例：チーム B $7 + 8 + 2 + 5 + 2 = 24$

b) 合計点を満点 (35) で割る。 $24 \div 35 = 0.686$

c) この数字を 1000 倍する。 $0.686 \times 1000 = 686$

決勝大会の際の総合評価は、各試合のポイントを合計したものを、試合数で割って算出されます。

14. この評価に加えて、担当者は、チームのフェアプレーパフォーマンスに関して評価の基準となったポジティブあるいはネガティブな要素の説明をフォームに記入し報告をすることができます。この説明で、プレーヤー、オフィシャル、レフェリーその他の特筆すべきフェアプレー行為を指摘することができます。ただし、これによって追加のポイントが加えられることはありません。

(大会名)

チームのフェアプレーパフォーマンス

マッチナンバー

チーム A
場所
スタジアム
結果

チーム B
月日
試合開始

担当者：(試合における役職)
(氏名)

		チーム A	チーム B
1.	グリーンカード、レッド／イエローカード (ベース 10 ポイント)		
2.	ポジティブプレー (最高 10 ポイント)		
3.	相手に対する敬意 (最高 5 ポイント)		
4.	レフェリーに対する敬意 (最高 5 ポイント)		
5.	オフィシャルの行動 (最高 5 ポイント)		
6.	観客の行動 (最高 5 ポイント)		
	合計ポイント		

JFA フェアプレーコンテストスコア

--	--

フェアプレーに関する特筆すべき事項

担当者サイン

JFA フェアプレーコンテスト			
0 ポイント	0	20 ポイント	500
1 ポイント	25	21 ポイント	525
2 ポイント	50	22 ポイント	550
3 ポイント	75	23 ポイント	575
4 ポイント	100	24 ポイント	600
5 ポイント	125	25 ポイント	625
6 ポイント	150	26 ポイント	650
7 ポイント	175	27 ポイント	675
8 ポイント	200	28 ポイント	700
9 ポイント	225	29 ポイント	725
10 ポイント	250	30 ポイント	750
11 ポイント	275	31 ポイント	775
12 ポイント	300	32 ポイント	800
13 ポイント	325	33 ポイント	825
14 ポイント	350	34 ポイント	850
15 ポイント	375	35 ポイント	875
16 ポイント	400	36 ポイント	900
17 ポイント	425	37 ポイント	925
18 ポイント	450	38 ポイント	950
19 ポイント	475	39 ポイント	975
		40 ポイント	1000

グリーンカード = +1 ポイント

1 枚目イエローカード = -1 ポイント

イエロー／レッドカード = -3 ポイント

直接レッドカード = -3 ポイント

イエロー&直接レッド = -4 ポイント